

## 1 痔の種類について

日本人の3人に1人は痔で悩んでいるといわれています。

痔には大きく分けて「いぼ痔(痔核)」、「切れ痔(裂肛)」、「あな痔(痔ろう)」に分けられていますが、それぞれ症状は異なります。



いぼ痔: おしりの血行が悪くなり、血管の一部がこぶ状になった状態です

切れ痔: 肛門の皮膚が切れたり裂けたりした状態です

あな痔: 肛門の周りに膿がたまって、外に流れ出るトンネルが出来た状態です

痔の患者さんの中でもっとも割合が多いのは「いぼ痔(痔核)」です。

いぼ痔はさらに、直腸側にできる「**内痔核**」と肛門側にできる「**外痔核**」に分けられます。

**当院では排便時、あるいは普段からイボが出たままになっているような「脱出を伴う内痔核」に対して、切らずに注射(ジオン注)による治療(アルタ療法)を積極的に行っております。**

## 2 新しい内痔核硬化療法剤について

本剤による治療では、有効成分を痔核内に投与することにより痔核を硬化／退縮させます。この方法は、従来より手術適応である「脱出する内痔核」についても効果があり、新たな痔核治療の選択肢の一つとして最近加わりました。

注射療法による治療のため、内痔核を切らずに脱出と出血を治療します。

痔核を切り取る手術と違って痔核の痛みを感じない部分に注射するため、「傷口から出血する」、「傷口が痛む」といった患者さんの身体的・精神的な負担が軽減されます。また、入院期間も短縮でき、社会生活への早期復帰が期待できます。

## 3 本剤での治療について

「四段階注射法」という特殊な手法で投与されます。

この治療法は高度な技術を要するため、現在では「当手技に関する講習会を受けた専門医の登録施設」においてのみ治療が実施されています。

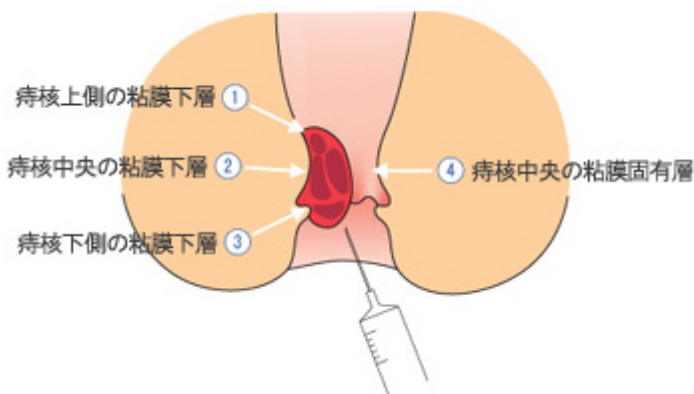
また、患者さんの状態によっては本剤が使用できない場合がございます。

詳しくは、当院外科でご相談ください。

### → 一般的な治療の流れ

本剤を、ひとつの痔核に対して4か所に分割して投与します。

複数の痔核がある場合には、それぞれに投与されます。





---

投与後しばらく点滴を続け、麻酔の影響がなくなるまで安静にします。

---



---

#### 患部投与後の変化(1週間から1ヶ月)

投与後の早い時期に痔核へ流れ込む血液の量が減り出血が止まります。

脱出の程度も軽くなります。

投与した部分が次第に小さくなり、引き伸ばされていた支持組織が元の位置に癒着・固定して脱出がみられなくなります。

